

1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成20年9月9日

【評価実施概要】

事業所番号	2870902174		
法人名	医療法人社団 甲有会		
事業所名	アネシス西宮		
所在地	兵庫県西宮市柳本町8番7号 (電話) 0798-70-7452		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成20年7月10日	評価確定日	平成20年10月30日

【情報提供票より】 (20年6月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	24 人	常勤15人, 非常勤9人, 常勤換算	18.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての2~3階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	73,000 円	その他の経費(月額)	26,250 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(450,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	346 円	昼食	420 円
	夕食	525 円	おやつ	105 円
	または1日当たり			円

(4) 利用者の概要 (6月27日 現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	10	要介護2	1		
要介護3	2	要介護4	4		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 83.2 歳	最低	74 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	甲有会クリニック	新田歯科クリニック
---------	----------	-----------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

明確に具現化された5つの理念を基本に、入居者が過去の経験を暮らしの中で生かし、自信を回復し生き生きとした日々を過ごせるホームを目指している。周辺には公園やスーパー・商店等が点在し、気軽に買物など楽しめる環境にある。2ヶ月に1回開催している運営推進会議を通じて民生委員等地域の協力が得られており、夏祭り・ふれあいサロン・子供会行事等にも積極的に参加している。また母体が医療法人のため内科・心療内科・歯科等協力医の往診を充実させると共に、入居者や家族の希望があれば、かかりつけ医への受診も支援し連携を図っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	<p>昨年の評価に基づき委員会(リスクマネジメント・運営・研修など)を作り、職員は何かの委員会に属している。ケアプランは3ヶ月毎に見直し家族に説明と同意をもらっている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>自己評価票をスタッフに配布し記入してもらい最終的に主任と管理者でまとめあげた。スタッフ面談で「自己評価を記入したことにより、勉強になった」との感想があった。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>運営推進会議は奇数月の末の水曜日に開催している。ホームから活動や生活報告・職員の移動・入居者の変動・職員の研修報告などを行っている。メンバーからは地域の行事などの案内がある。市の担当職員の参加もあり、市役所への相談にも行きやすくなっている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>家族来訪時には管理者・看護婦・ケアマネが対応している。苦情受付票・相談連絡記録を作成して家族とのやり取りが確認できるようになっている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>地域小学校区の夏祭りには準備から参加し、家族の協力も得て出店をしたり折り紙に飴を入れて子どもに配ったりしている。社協の青愛協が開催している地域の老人会に参加したり、こども会の行事にも参加している。民生委員や近隣住民がよく関わりをもってくれている。</p>

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所の基本理念に 一、安心の暮らし 二、尊厳のある暮らし 三、ふつうの暮らし 四、助け合いの暮らし 五、絆のある暮らしを掲げ玄関と職員事務コーナーに掲示してある。開所時からの理念は地域密着型サービスとしての役割を目指した内容となっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新人研修の中に理念を穴あきテストにし、覚えるまで期間おいて繰り返しテストを行い浸透をしている。スタッフミーティング内で介護計画について検討する際に、理念を反映した計画になるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	大社小学校区の夏祭りには準備から参加して、家族の協力も得て出店をしたり、折り紙に飴を入れて子どもに渡している。社会福祉協議会の青愛協が公民館で開催している地域の老人会への参加や子ども会の行事にも参加している。ドックセラピーや折り紙ボランティアを受け入れている。民生委員や近隣住民（ホームの前の美容院）の協力が得られている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>昨年の評価に基づきリスクマネージメント・運営・研修など委員会を作り、職員は何れかの委員会に属している。ケアプランは3ヶ月毎に見直しを実施し、家族に説明・同意をもらっている・スタッフミーティングは月に1回開催する等改善されている。今回の自己評価票をスタッフに配布し記入してもらい最終的に主任と管理者でまとめた。スタッフ面談で「自己評価の記入は勉強になった」との感想があった。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は奇数月の末の水曜日に開催している。昨年の評価結果を説明・配布した。メンバーは民生委員・近隣の住民・他のグループホーム職員・市役所担当者・家族の代表などで構成されている。ホームから活動や生活報告・職員の異動・入居者の変動・職員の研修状況などをプリントし説明している。メンバーからは地域の行事などの案内がある。職員には前もって資料をみせている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に介護保険グループの職員の参加があり、電話等でも相談している。グループホーム連絡会の役員でもある為、市役所へ出かけることも多い。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、利用者個々の身体状況・食事・入浴・排泄・睡眠・日常の様子・介護計画・訪問者・外出先・その他連絡事項などについて担当者が報告書を作成し、管理者がチェックした後、メニュー表と請求書と共に郵送している。家族会を8月24日に計画し、金銭面の説明と了解・消防からカーテンの防災指導・職員と家族間の交流を目的に開催予定である。</p>		<p>利用者個々の報告書と共に全体の行事や生活の様子をホーム便りにして家族に配布されることが望ましい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪の頻度は比較的高く、来訪時の対応は管理者・看護婦・ケアマネが行っている。苦情受付票・相談連絡記録を作成しているが、スタッフには家族の意見を相談記録に残す意識が十分浸透出来てない。</p>		<p>利用者の背後には家族の存在があり、家族との関わりは職員の重要な職務であることを、職員に認識させる取り組みを期待する。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>夜勤者の負担を少なくする為に、日勤の職員を増やし時間の調整を行っている。常勤職員は法人内での異動があるが、大量の異動はないように配慮している。スタッフの異動があっても馴染みの関係が出来るように2ユニット合同での外出や行事ができるよう取り組んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修委員が研修について1年目2年目3年目の目標と実施内容について計画を立てている。事業所内研修はスタッフがそれぞれ講師になり研修するとともに、自己学習の機会にしている。研修受講者は「研修レポート」を、講師は「資料」と「研修後の感想」を提出している。法人の他の事業所と合同で年間計画を立て、地域の事業所にも声掛けをし夜間にも研修を行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>3ヶ月毎に行われる市内グループホーム連絡会に参加している。その人脈を生かして他のグループホームのスタッフと交流している。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所までに必ず本人に見学に来てもらっている。状況により入居前に家庭訪問をし、アセスメントを兼ねて契約を自宅で行う場合もある。在宅一人暮らしを優先して入所してもらっている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者一人一人の出来ることを把握し、入居者に職員が子育ての相談をしたり、作業を共にし、介護を受けるだけの存在にならない取り組みをしている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の情報はケアマネ・管理者・看護師で面接して細かく情報収集し、センター方式の一部を活用したシートを作成している。家族の意向・要望及び利用者一人ひとりの思いを汲み取り日々の支援を行っている。また意思表示の困難な利用者に対しても言動を細かく観察しながら思いを汲み取る努力がなされている。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式の一部を活用したアセスメントシートを使用して、利用者の発症時の様子・生活状況・介護上の問題点・かかりつけ医の情報、・家族・本人の施設への意向・要望・生育歴・家族構成・住宅の状況・ADL・IADLなど詳細に情報収集し、介護計画の作成をしている。		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入所者ごとの担当者が、見直しが必要なことは観察項目にあげている。観察項目のシートには担当者以外も追加している。観察項目と指示項目を同じシートにしてアセスメントを行っている。定期的には3ヶ月ごとに家族への説明と同意をもらっている。来所の少ない家族には送付し印をもらっている。毎月各担当者が介護計画評価シートによりモニタリングをし、各ユニットでのカンファレスで計画の変更や継続について話合っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>職員として看護師を配置し、24時間体制にて入居者の健康管理に対応できるよう医療連携体制を整えている。かかりつけ医への通院介助は原則は家族にお願いしているが、状況に応じて職員も柔軟な支援を行っている。入居者の身体機能の低下防止の為にパワーリハビリを取り入れるよう準備を整えている。</p>		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に内科・心療内科・歯科の往診があり、日常の健康管理を行っている。入居者・家族の要望があればかかりつけ医等の受診を支援している。担当医や家族との間で書面や電話の活用にて受診状況等の情報が共有できるように取り組んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化・看取りについてホームの指針を文書化し入居時に家族に説明し同意を得ている。終末期のケアについて職員間の考えの統一を図るため研修を実施している。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>理念として「入居者の尊厳ある暮らし」を掲げ入居者一人ひとりのプライバシーに配慮した対応ができるよう努めている。個人情報保護について研修を実施し、記録時の周囲への配慮や保管場所について秘密保持が徹底するよう取り組んでいる。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1日のリズムは、個々の入居者の意向やペースにできる限り合わせられるよう取り組んでいる。起床の時刻や食事のペースは本人の今までの習慣や力量にあわせ支援している。買物や散歩等の希望がある場合は、個別や数人での外出を支援し個々の意向が反映できるよう配慮している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本は、業者の食材搬入をもとに昼と夜の食事をホームで作っており、朝食は入居者の希望にそって、パン食かご飯食を選べるよう配慮している。誕生日や行事食は入居者の希望を取り入れたメニューとなるよう工夫している。入居者の力量を見極め、配膳や後片付けを手伝ってもらっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の今までの習慣を把握し、夜間入浴の希望があれば、入居者の身体状況に配慮しながら夜9時くらいまで対応出来るよう取り組んでいる。羞恥心に配慮し同姓介助の希望があれば柔軟に対応できるように取り組んでいる。足浴・清拭は入居者の状況に応じ支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の心身機能の維持向上のために、日常の暮らしの中で自然に楽しめたり力を発揮できるように工夫している。入居者の力量や関心事を把握し、食事の準備・掃除・草引き等役割の場面を工夫している。ボランティアとの連携にて大正琴・おり紙・ドックセラピー等アクティビティがあり、張りのある暮らしができるよう支援している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	地域への外出の機会として夏祭り・ふれあいサロン・子供会行事等への参加が継続されている。外食や旅行等は入居者の力量にそって個別や数人ごとに支援し、個々の希望に沿えるよう配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの玄関・エレベーターは開放している。1階のデイサービスの職員や近隣の方々の協力を得ながら見守りの体制も整えている。リスクマネジメント委員会を中心に身体拘束について研修を行い職員の意識を高めている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署との協力にて年に2回夜間も想定した訓練を、入居者も参加し実施している。食料品や飲料水を備蓄し、災害時に迅速な対応が出来るよう整備している。		災害発生時に地域との支援体制を整え対応できるよう、運営推進会議等で協力を呼びかけることが望ましい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材業者との1ヶ月に1回の話し合いで食事に関する入居者や職員の要望を伝えるよう取り組んでいる。入居者の身体状況や治療中の疾患によって調理法や栄養バランスに配慮し職員の介助や見守りに工夫が見られる。食事や水分の摂取状況を把握し、定期的な体重測定を行い家族に報告し健康管理に活かしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物外観や共有空間は暖かい色調で統一し、入居者が穏かな気分で過ごせるよう配慮している。リビングでは幼稚な装飾にならない程度に、七夕の飾り付けを入居者と共に行い、四季の変化を取り入れ五感への刺激となっている。入居者の心身の状況や入居者間での気持ちの変化に応じてテーブルやソファの配置を工夫していくよう取り組んでいる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前は利用者の自宅を訪問し、本人の生活環境や習慣を把握し、ホームの居室での暮らしに反映できるよう配慮している。本人・家族と相談し馴染みの家具等を持ち込み落ち着いて過ごせるよう努めている。		居室内の清掃は入居者の力量に沿って職員と共に行っているが、家族の意向も取り入れながら、整理整頓について継続的に支援できるように取り組んでいく事が望ましい。

 は、重点項目。